

平成 29 年度

女性懇談会の記録



平成 29 年 11 月 2 日開催

(一社)全国上下水道コンサルタント協会

関 西 支 部

平成 29 年度 女性懇談会・プログラム

1. 日 時 平成 29 年 11 月 2 日（木） 10:00~17:00

2. 会 場 株式会社 日水コン 大阪支所 7F（第 8 会議室）
大阪府吹田市江坂町 1-23-101 大同生命江坂ビル

3. プログラム (敬称略)

| | | | |
|-------------|-------------------------|-------------|-------------|
| 10:00 | 開会挨拶 | 関西支部長 | 北 秀文 |
| 10:05 | I.本企画の説明 | 実行委員長 | 滝澤 茂（関西支部） |
| 10:15 | II.オリエンテーション | 実行委員 | 井前 省吾（関東支部） |
| 10:40 | III.チーム自己紹介 | // | // |
| | － 休 憩(11:10~11:20) － | | |
| 11:20 | IV.講演 | | |
| | 講演 1：水コンサルタントで働いて（事務職） | 五十嵐 | 八穂子（関東支部） |
| | （講演 20 分） | | |
| | 講演 2：水コンサルタントで働いて（技術職） | 小森 | 智美（関西支部） |
| | （講演 20 分） | | |
| | － 昼 食 (12:00~13:00) － | | |
| 13:00 | V.チーム討議 | 実行委員 | 井前ほか全員 |
| | ROUND①講演を踏まえた各チームのテーマ設定 | | |
| | （チーム作業・発表） | | |
| | － 休 憩(14:20~14:30) － | | |
| 14:20 | V.チーム討議 | 実行委員 | 井前ほか全員 |
| | ROUND②KJ法を用いた構造化討議 | | |
| | （チーム作業・発表） | | |
| 16:00 | クロージング | 実行委員 | 井前ほか全員 |
| | （チームディスカッション・発表） | | |
| 16:40 | 全体講評 | 本部 総務委員会委員長 | 山本 哲彦 |
| 16:45 | 閉会挨拶 | | 依藤 弘志（関西支部） |
| 16:50 | アンケート記入 | | 本名 元（関西支部） |
| | － 休 憩 － | | |
| 17:30~19:30 | 懇親会 | | |

I. 本企画の目的・ねらい

水コンサルタントを取り巻く環境は、言うまでもなく、高度化・多様化する上下水道インフラの持続可能性の追求のためには、コンサルタント業界に勤める女性の能力を最大限に発揮できるような環境を整備し、その活躍を促進していくことが不可欠である。一方、昨年度「女性活躍推進法」が施行され企業における女性の活躍に注目が集まっている。

このような背景を受けて、関西支部では女性技術者のみならず業界に勤める女性が継続して活躍できるよう、育児・介護等との両立や技術力の維持・向上についての意見交換や情報共有を企図した懇談会の開催を企画した。

本企画は、女性職員の目線での水コン協の“中期行動計画”に掲げる「魅力ある職場づくりに向けて」の取り組みのひとつと考えており、女性職員のさらなる活躍、人材確保支援など会員各社でご活用いただければ幸いと考えている。

II. 企画の概要

1. 本企画コンセプト

1. 女性として水コンサルタントで働き続けるために ～環境整備と自らすべきこと～

【キーワード】

- ① 仕事との両立
- ② スキルアップ
- ③ 女性管理職
- ④ 働きやすい職場

2. われわれを取り巻く課題への解決策の模索

体験談を参考に

- ① 今回のテーマを絞る
(女性のキャリアとライフイベントを踏まえた阻害要因、個人でやるべきこと、会社・協会としてすべきこと)
- ② 課題への取り組み方針を考える
- ③ 協会内女性職員の情報交流方法を考える

2. 本企画プログラム（概要）

| 昼食60分 | | | | | | 懇親会 |
|--|--|--|---|--|--|--|
| 10:00~11:10 | | 11:20~12:00 | 13:00~14:10 | 14:20~16:00 | 16:00~17:00 | |
| Stage I. 本企画の説明 15分 ・1.本企画のナライと背景 ・2.本企画のコンセプト ・3.講師自己紹介 | | Stage II. オリエンテーション 25分 ・1.タイムテーブル ・2.参加者の自己紹介 ・3.チーム討議の方法 | Stage III. チーム自己紹介 30分 ・チーム内役割決定 ・チーム名決定 ・チーム自己紹介 | Stage IV. 体験談講演 40分 水コンサルタントで働いて ・1.事務職 ・2.技術職 | Stage V. チーム討議Round① 70分 テーマの設定 ・演習をヒントにししながら ・チーム発表 | Stage V. チーム討議Round② 100分 構造化討議 ・テーマについて討議 技法: KJ法 ・チーム発表 |
| クロージング 全体講評 ・チーム内ディスカッション ・チーム発表 全体講評 | | | | | | |



Ⅲ. 企画・運営

本企画の運営は、総務本部、関西支部・関東支部の協力のもと、関西支部の事務局、実行委員会メンバーで行った。

Ⅳ. 本企画の実施内容

1. Stage I：企画の説明

Stage II：オリエンテーション

Stage III：チーム自己紹介

当本企画会の開催にあたっての目的・ねらい、スケジュール等の説明を行った。

受講者を4チームに分けた上で、メンバーの役割、チーム名を決め、チーム紹介を行って具体的な本企画活動を行う前の準備やチーム内の雰囲気作りを行った。



写真一 オリエンテーション講師説明
(本企画内容を講師から聞き入っている様子)

【チーム名】

| | | |
|---------------|----|-----------|
| Aチーム：「雑食」 | 6名 | |
| Bチーム：「りんごちゃん」 | 6名 | |
| Cチーム：「キャリア」 | 6名 | |
| Dチーム：「GJ」 | 6名 | 参加者総数 24名 |

2. Stage IV：体験談講演

講師2名(関東支部 五十嵐さん-事務系、関西支部 小森さん-技術系)の方から、1で示した4つのキーワードを交えた体験談を講演して頂いた。本企画の次のステップへつなげるための貴重な報告であり、体験談から①あるべき姿→②現状の女性が抱える課題認識し次のステップ③現状の課題→④原因・問題点→⑤課題→⑥解決策へ向けてのテーマの設定の方向性を考える貴重な報告であった。



写真一 五十嵐さん 小森さんからの講演風景

3. Stage V：チーム討議

◆Round①：講演を踏まえた各チームのテーマ設定

「女性として水コンサルタントで働き続けるために～環境整備と自らすべきこと～」という「あるべき姿」として講演者から説明を参考に各チームで本日のテーマ設定のためのディスカッションを行ない、テーマ設定とその設定理由を整理し、各チームで発表して頂いた。

| | | | |
|------|---|------|---|
| チーム名 | A: 雑食 | チーム名 | B: りんごちゃん |
| テーマ | 働き続けられる職場づくり | テーマ | 続ける理由 |
| 設定理由 | スキルアップしていくには？ 育児・介護 家事 の不安 を どのように解決しながら働きづけられるか？ | 設定理由 | 働き続ける理由を 他社の女性職員の方と話し合い、 自分が働き続けるために活かせるようにしたい |
| チーム名 | C: チームキャリア | チーム名 | D: GJ |
| テーマ | 働きやすい職場にするための環境づくり | テーマ | 女性として働き続けるための 働きやすい職場づくり |
| 設定理由 | 使いにくい制度 ノー残業デー や 女性特有の時短勤務 等 の制度や仕組みを使いやすきたい | 設定理由 | アンケート回答の集約結果をもとに 1番:女性として働き続けることの課題 (と自らすべきこと) 5番:働きやすい職場作りを目指して |

◆Round②：KJ法を用いた構造化討議

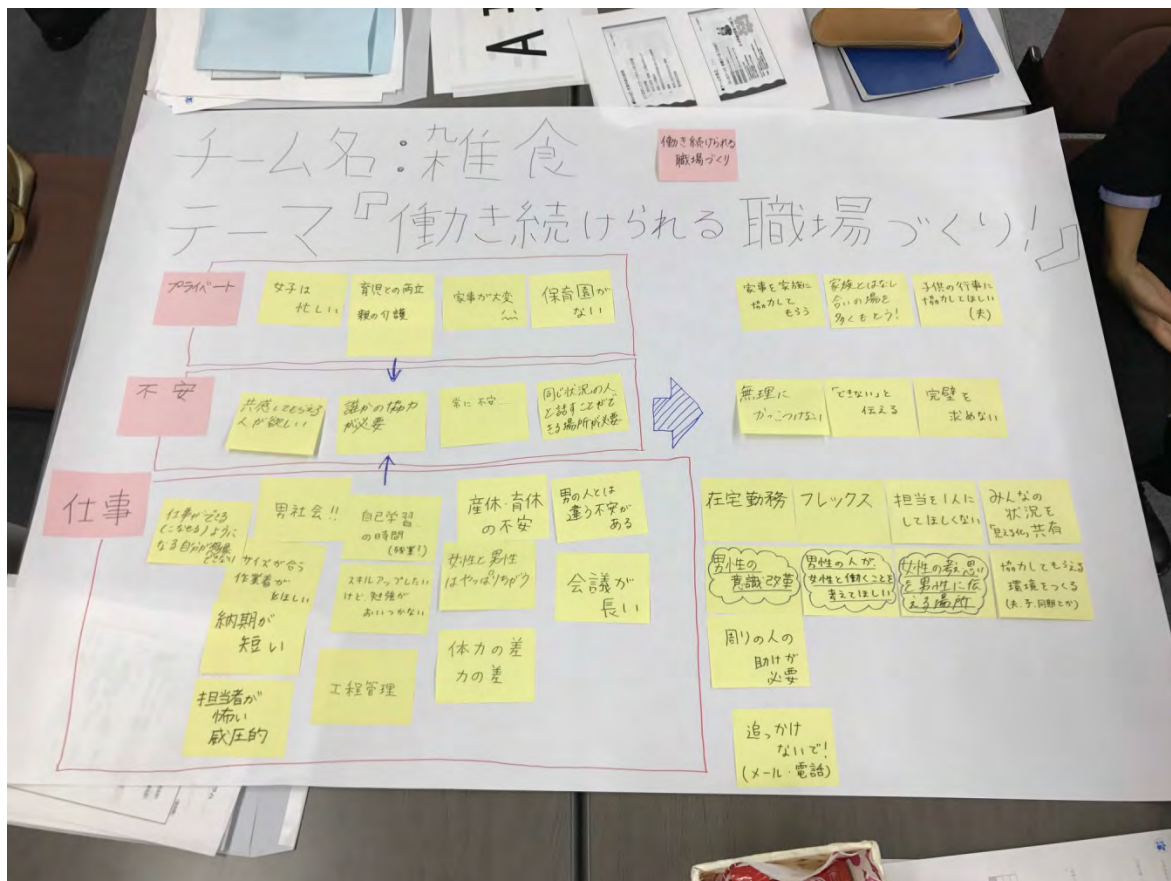
「現状」を踏まえて「問題」「原因」「課題」「解決策」をブレインストーミングで抽出した。その後、簡便な問題構造化技法であるKJ法の手法を用いて抽出結果を整理し、グループの成果として発表して頂いた。



写真一 討議風景（真剣に活発に意見交換している様子）

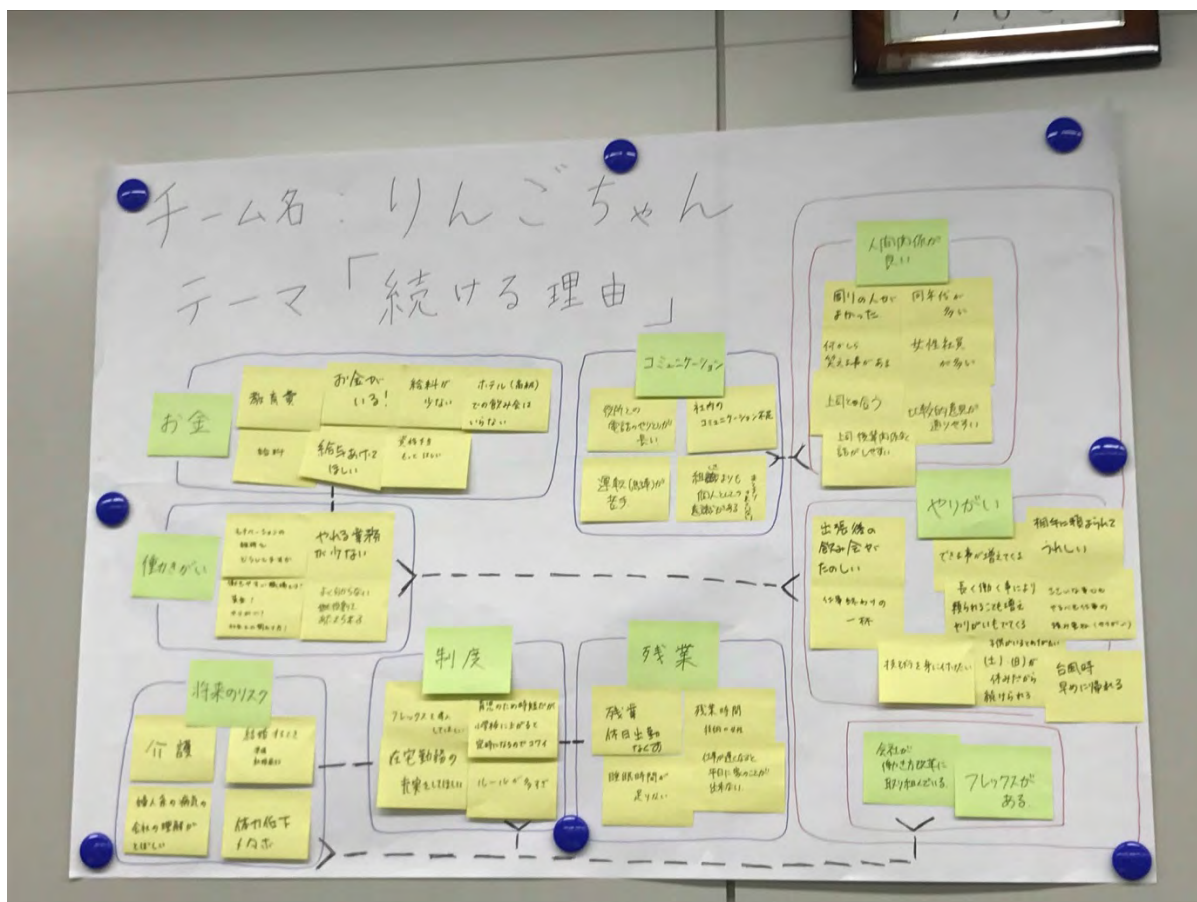
◆クロージング:各自のコミュニケーション上の課題をディスカッション
最後に、事例を踏まえて、各自の課題についてチームディスカッション
と発表をして頂いた。

KJ法による成果（クロージングディスカッション）



写真ー 「クロージング」のアウトプット 【Aチーム：雑食】

- 選択テーマ「働き続ける職場環境づくり」
- アウトプット 今日の一言
： 男性の意識改革、会社/協会の意識改革



写真ー 「クローシング」のアウトプット 【Bチーム：りんごちゃん】

- 選択テーマ「続ける理由」
- アウトプット 今日の一言

個：積極的にコミュニケーションをとり、人間関係を築く。
会社：風通しを良くする。意識改革

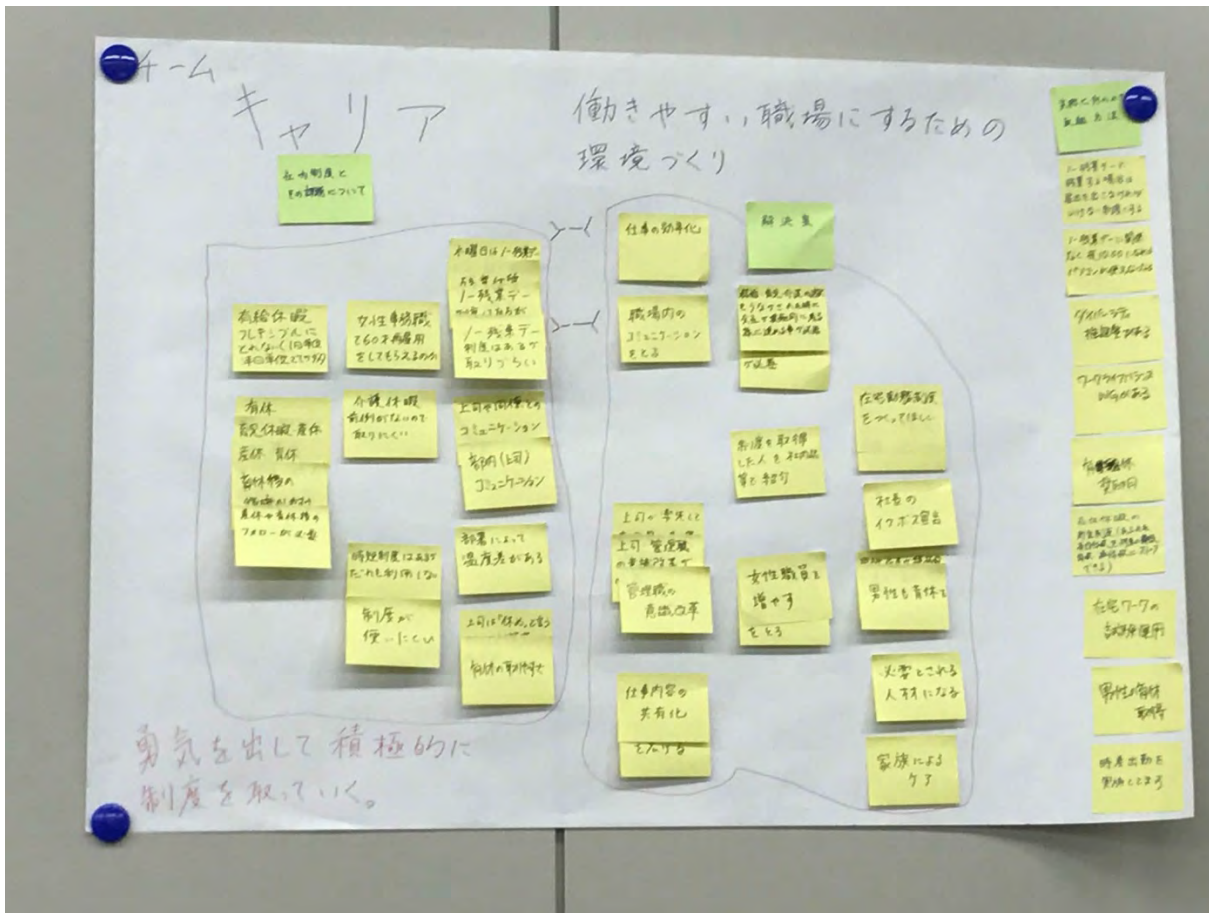


写真-「クロージング」のアウトプット 【Cチーム：キャリア】

- 選択テーマ「働きやすい職場にするための環境づくり」
- アウトプット 今日の一言：勇気を出して積極的に制度を取りに行く。

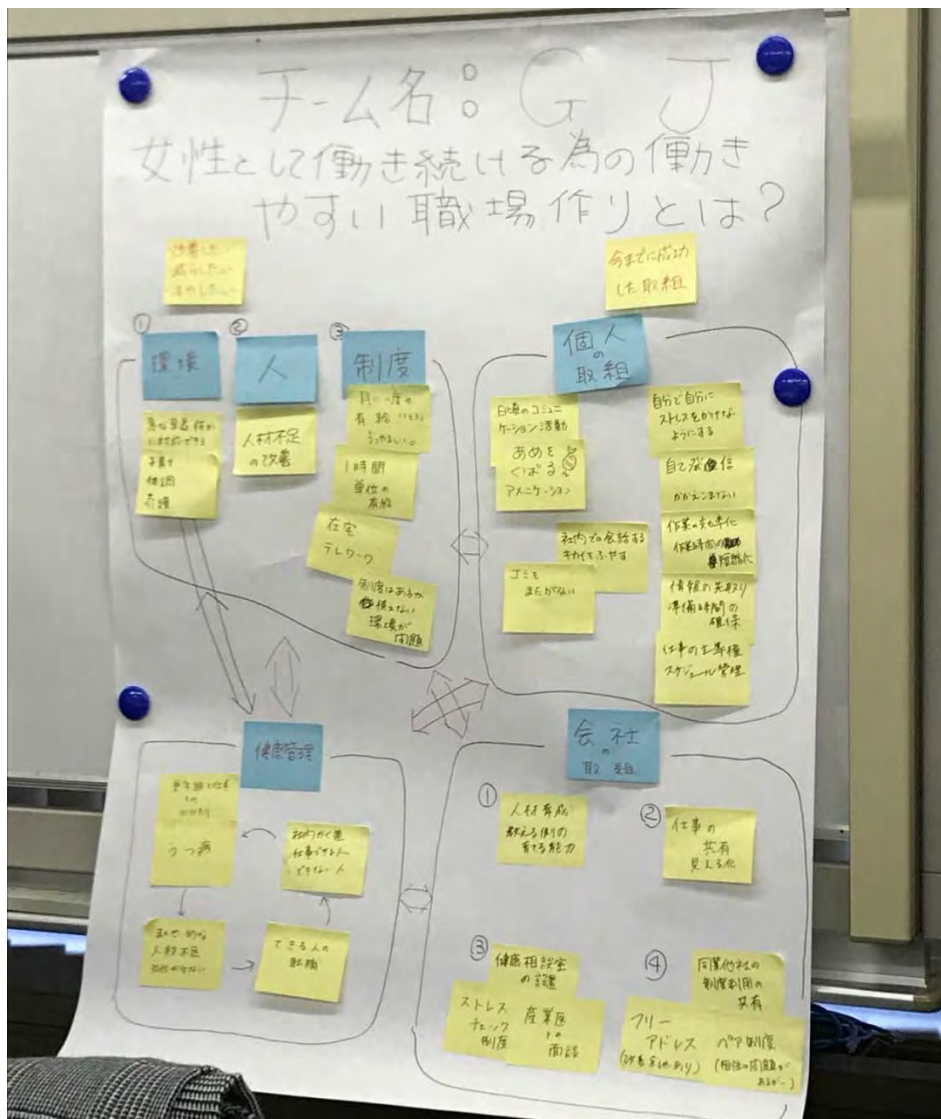


写真-「クローシング」のアウトプット 【Dチーム:GJ】

- 選択テーマ「女性として働き続ける為の働きやすい職場づくりとは？」
- アウトプット 今日の一言：人が大切。他社との交流。自己発信。

V. 本企画の総括

本企画では、前述のコンセプト 1 つ目の“女性とし水コンサルタントで働き続けるために～環境整備と自らすべきこと”と 2 つ目の“われわれを取り巻く課題への解決策の模索”を掲げて開催された。体験談を参考にし、各チームでテーマを絞り、課題への取り組み方針を考えて、協会内女性職員の情報交流方法を考えるなどについて長時間にわたり討議され、各チームのクロージングで示された「今日の一言」で“解決策の方向性”が見出せたと考えている。

全体を通して

- ・参加者が「体験談」を参考に討議ネタを自らの経験に重ね、より身近な問題としてリアリティをもって実感できたものと考えられる。
- ・ブレインストーミングとKJ法などの課題構造化手法を用いて、参加者自身が積極的に本企画へ参加するカリキュラム編成できた。
- ・グループ討議ではどのグループでも活発なやり取りが見られ、多彩な切り口で成果をまとめていた。またグループ発表では全員が明るく個性的なプレゼン能力を発揮してくれた。
- ・水コン協会各社は、それぞれ企業風土が違ふと思われるが、女性社員の感じ方は共通するところが多かった。他社との意見交換を通じて、日頃悩んだりしていることを認識していることを再確認する貴重な場を提供できたことは、意味のある企画であった。

など講師の方々の協力もあり、ほぼ企画通りに実施できたかと考えている。

一方、参考資料で示すとおりアンケート調査結果から見ると

参加者の年代構成は、20代～50代と幅広い世代の方に参加して頂き、全般を通して「参考になった」（96%）「やや参考になった」（4%）という参加者全員から“参考になった”という高い評価を頂いた。参考になった点は、“有意義な、充実した時間であった”や“他社の制度を聞いたのが良かった”などの意見が挙げられていた。時間が長いと感じた方もいるものの講師体験談、チーム討議、討議方式などについても総じて高い評価を頂いた結果となっている。また、次年度以降に向けての意見も多数頂いた。

これら意見は各加盟会社の風土の違いはあるものの、基本的には各社共通に抱える課題を示しており、今回の本企画において女性職員がその課題を共有できたことや同業他社との交流ができたことが大きな成果といえる。また、この課題や見えかけた解決策の方向性などを職場に持ち帰り、自らが推進力となって課題解決にあたる決意の一助になれば幸いである。

今回の成果を参考に各社で議論を深めていただければと思う。



写真－4 全体写真

（参加者全員での記念撮影 皆さん笑顔で！）

VI. 懇親会

本企画終了後、講師・事務局も含め 29 名が参加し、近くのレストランで懇親会を行った。懇親会は、参加者、講師・実行委員と食事とお酒等を酌み交わし盛り上がりを見せた。参加者からは、総じて“良かった”“継続してほしい”“などの多くに意見が出た。また、名刺交換や雑談などの会社の垣根を越えて「コミュニケーション」が図られました。女性職員の日ごろの”熱き思い“を感じつつ、懇親会をお開きとした。



写真一 懇親会風景

VII. 今後の課題

参加者からのアンケートにもあるように、今回の本企画は、参加者にも好評で大変有意義であった。

今回の企画は、関東支部の強力なバックアップで実現できたが、今後は、関西支部単独でも本企画を開催できるように、継続的な実施を目指し、何を議論

するかなどワーキンググループなど体制を整えていくことが課題と言える。定期的な開催は、本協会の社員を育成するうえでも非常に重要であると考えられる。

今回は関西支部各社の女性職員を対象に実施したが、目的別の懇談会、研修会（例えば、若手など）を幅広く実施していくことも重要であると考えられる。

アンケート調査からの以下の意見を参考に次年度以降につなげることが重要。

- またこのような懇談会を開催して頂きたいです。
- 介護問題、経営者の意識
- 家庭との両立、介護、子育て
- 女性の想いと男性の想いを考えることができるテーマ
- Arc GIS 操作、SIS 操作の講習
- 継続的に女性懇談会を開催してほしい
- 今日要望の出た活動を実現してほしい。
- 情報交換の場を増やしてほしい。
- また参加したい。
- 技術の講習会に事務職でも出席できるようにしてほしい。

<参 考 資 料>

平成 29 年度

女性懇談会アンケート結果

関西支部では、中期行動計画に掲げる「魅力ある職場づくりに向けての啓発」として“目的別座談会等の開催”のひとつとして“女性懇談会”を開催しました。今回は今年 4 月から準備を開始し、本部、関東支部の協力をいただき 11/2 無事に開催できました。

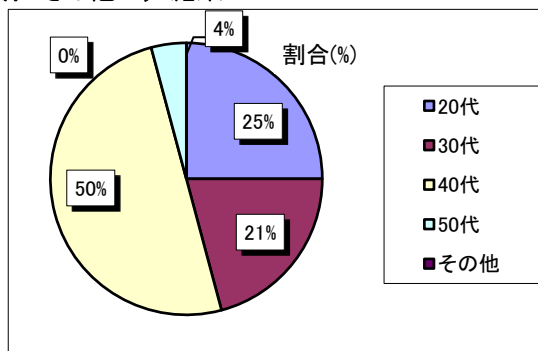
参加者は、24 名、体験談講師は、関東支部 1 名、関西支部 1 名のほか本部から 1 名、関東支部から 1 名の支援参加、また、事務局として関西支部 5 名が参加しました。アンケートは参加者 24 名に対し実施し、全員から回答を得ました。その結果は、以下のとおりです。

◆女性懇談会について

1. 該当箇所に○印他の記入をお願いします

(1) 年齢（20代、30代、40代、50代、その他）結果

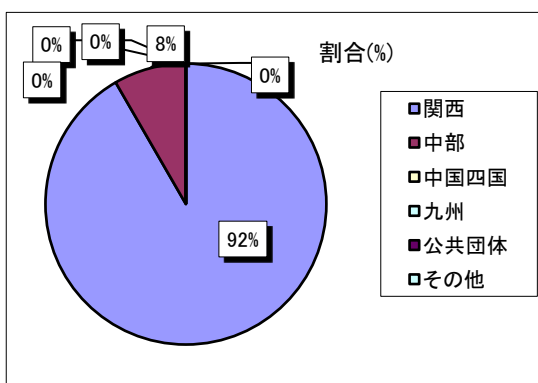
| 年代 | 人員（人） | 割合（%） |
|-----|-------|-------|
| 20代 | 6 | 25% |
| 30代 | 5 | 21% |
| 40代 | 12 | 50% |
| 50代 | 1 | 4% |
| その他 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：20代から50代までの各世代が参加されました。中での40代が50%を占め、20、30代は約21～25%を占めています。

(2) 所属（関西支部、中部支部、中国・四国支部、九州支部、その他）

| 支部 | 人員（人） | 割合（%） |
|------|-------|-------|
| 関西 | 22 | 92% |
| 中部 | 2 | 8% |
| 中国四国 | 0 | 0% |
| 九州 | 0 | 0% |
| 公共団体 | 0 | 0% |
| その他 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |

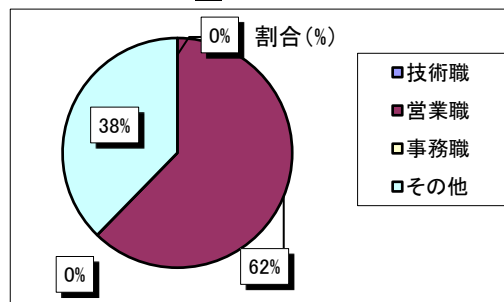


コメント：ほぼ関西支部からの参加者でした。2名中部からの参加。

(3) 会社で従事している職種

技術職（下水道、上水道及び工業用水道、水道環境、その他 __部門）、営業職、事務職

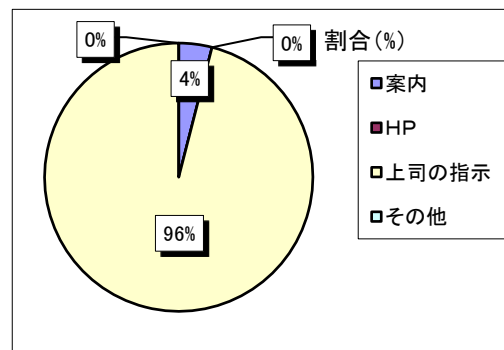
| 職種 | 人員（人） | 割合（%） |
|-----|-------|-------|
| 技術職 | 15 | 62% |
| 営業職 | 0 | 0% |
| 事務職 | 9 | 38% |
| その他 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：技術職が62%と高かったが、今回の主旨である“技術職”の限定しないことで事務職も32%と相当数の参加を頂くことができました。

(4) 懇談会出席動機（協会からの案内を見て、協会ホームページを見て、上司の指示、その他）

| 動機 | 人員（人） | 割合（%） |
|-------|-------|-------|
| 案内 | 1 | 4% |
| HP | 0 | 0% |
| 上司の指示 | 24 | 96% |
| その他 | 0 | 0% |
| 計 | 25 | 100% |

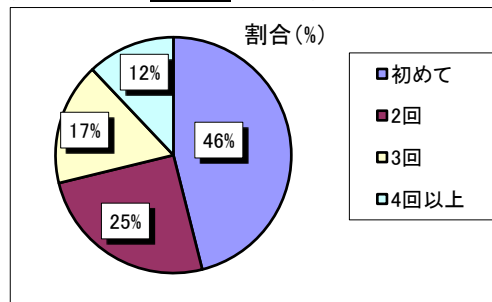


*無回答…無(複数回答あり)

コメント：ほとんどが上司に指示による参加でした。

(5) 関水コンの講習会やその他活動への参加は（初めて、__回目）

| 回数 | 人員（人） | 割合（%） |
|------|-------|-------|
| 初めて | 11 | 46% |
| 2回 | 6 | 25% |
| 3回 | 4 | 17% |
| 4回以上 | 3 | 12% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：初めて参加が46%と高く、まだまだ女性が参加する機会が少ないと思われます。

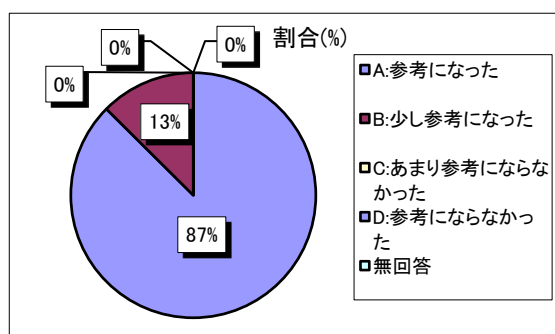
2. 内容についてお聞かせください

(1) 個別内容について

| 講習内容 | 評価 | 参考になった点、ならなかった点をお聞かせください。 |
|----------|---------|---------------------------|
| ① 講師の体験談 | A・B・C・D | |
| ② チーム討議 | A・B・C・D | |
| ③ 懇談会全般 | A・B・C・D | |

（評価）A：参考になった、B：少し参考になった、C：あまり参考にならなかった、D：参考にならなかった

| ランク | 人員（人） | 割合（%） |
|----------------|-------|-------|
| A:参考になった | 21 | 87% |
| B:少し参考になった | 3 | 13% |
| C:あまり参考にならなかった | 0 | 0% |
| D:参考にならなかった | 0 | 0% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



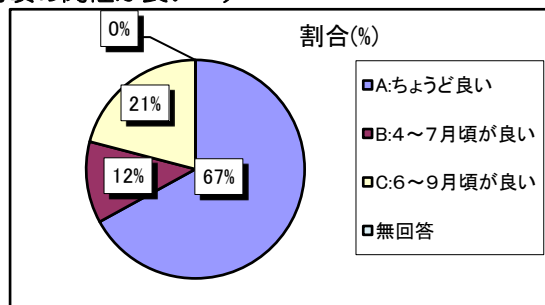
コメント：“参考になった” “少し参考になった” が 100%を占めています。今回の体験談講師の説明が、参加者にとって有意義なものあったと判断されます。

| 【参考になった点、ならなかった点】 |
|-----------------------|
| 未来の不安が少し解消された。 |
| お二人の体験談、非常に良かったです。 |
| 営業、事務職の内容 |
| 柔軟な考え方 |
| 家庭との両立 |
| すごく聞きやすく、いろいろと勉強になった。 |
| 自分の将来について考えるきっかけができた。 |

(2) 講習会の時期・時間について

1) 開催時期について（ちょうど良い、____月頃の開催が良い）

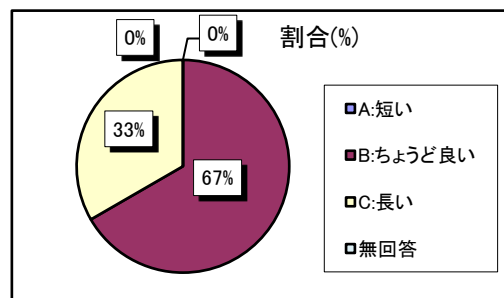
| ランク | 人員（人） | 割合（%） |
|------------|-------|-------|
| A:ちょうど良い | 16 | 67% |
| B:4～7月頃が良い | 3 | 12% |
| C:6～9月頃が良い | 5 | 21% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：事前調査では、Cが多かったが、ちょうど良いが2/3を占める結果となっていますが、今後、しごとなど繁忙期が始まる前に実施することも検討することが必要かと。

2)懇談会の時間について(短い、ちょうど良い、長い __時間くらいが良い)

| ランク | 人員(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| A:短い | 0 | 0% |
| B:ちょうど良い | 16 | 67% |
| C:長い | 8 | 33% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：“ちょうど良い”が2/3を占めているが、1/3の方が“長い”との回答となっています。次期開催時に時間配分などを再検討事項と考えます。

(3) 懇談会の方式について

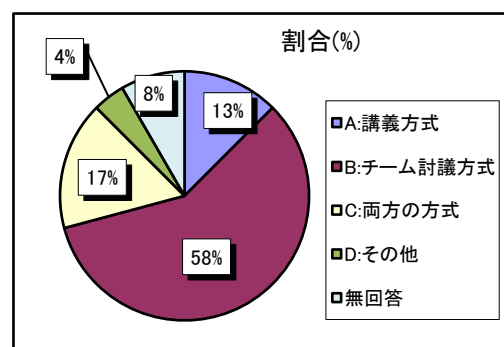
A:講義方式（講師があるテーマに基づき、知識や考え方を伝達する方式）

B:チーム討議方式（今回実践した方式）

C:両方の方式

D:その他

| ランク | 人員(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|-------|
| A:講義方式 | 3 | 13% |
| B:チーム討議方式 | 14 | 58% |
| C:両方の方式 | 4 | 17% |
| D:その他 | 1 | 4% |
| 無回答 | 2 | 8% |
| 計 | 24 | 100% |



コメント：方式は、いろいろなやり方がありますが、今回方式は半分以上が賛同を得たと判断します。次回実施時の検討事項かと思えます。

(3) 女性懇談会全般（会場や配布資料等）について、ご意見・ご要望等があればご記入をお願いします。

以下の意見等を頂きました。

- ・またぜひ開催してほしい。
- ・CPDがあるのが良かった。
- ・カラーでも良かった。回数を増やしてほしい。
- ・今回初めてで勉強になりました。最初、少しどうしたらよいかとまどりましたが、最終的にはよかったと思います。
- ・今後も継続していただくと有難いです。同業他社の皆さんの色々な意見を拝聴する事ができて非常に勉強になりました。

- ・他社さんのお話が聞けて良かった。広くなく、狭くなく、程よい広さの会場であり、駅から近くてよかった。事前に具体的な内容がわかる資料をいただければ…支部関係の話が長すぎる。
- ・主コンセプトのチーム討議に関する時間が短縮されるのは本末転倒では？
- ・事前に資料を送付して頂けるとうれしいです。

コメント：次回開催の参考にしたいと思います。

◆関西支部の活動について

1. 女性懇談会や技術講座でご希望されるテーマがございましたらご記入下さい。

以下の意見等を頂きました。

- ・またこのような懇談会を開催して頂きたいです。
- ・介護問題、経営者の意識
- ・家庭との両立、介護、子育て
- ・女性の想いと男性の想いを考えることができるテーマ
- ・Arc GIS 操作、SIS 操作の講習
- ・継続的に女性懇談会を開催してほしい

2. 支部活動全般について、ご希望・ご要望等がございましたらご記入下さい。

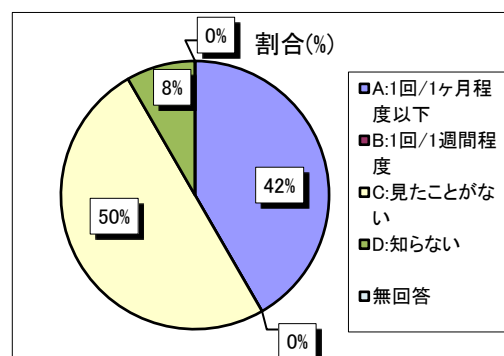
以下の意見等を頂きました。

- ・今日要望の出た活動を実現してほしい。
- ・情報交換の場を増やしてほしい。
- ・また参加したい。
- ・技術の講習会に事務職でも出席できるようにしてほしい。

3. 関西支部のホームページについて

(1) ホームページの閲覧頻度（1週間に1回程度、1ヶ月に1回程度以下、見たことがない、知らない）

| ランク | 人員（人） | 割合（%） |
|--------------|-------|-------|
| A:1回/1ヶ月程度以下 | 10 | 42% |
| B:1回/1週間程度 | 0 | 0% |
| C:見たことがない | 12 | 50% |
| D:知らない | 2 | 8% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 計 | 24 | 100% |



(2) ホームページの内容について、ご意見・ご要望等がございましたらご記入下さい。

特にありません。

以上



参加者名簿

| A班 | | |
|--------|----------------|----|
| 氏名 | 所属 | 職種 |
| 石本 未悠 | 株式会社 NJS | 技術 |
| 佐藤 佳子 | オリジナル設計株式会社 | 技術 |
| 伊藤 綾子 | オリジナル設計株式会社 | 事務 |
| 濱崎 夏子 | 株式会社 三水コンサルタント | 技術 |
| 久保 朱里 | 株式会社 日水コン | 技術 |
| 佐久川 佳子 | 日本水工設計株式会社 | 事務 |

| B班 | | |
|-------|------------------|----|
| 氏名 | 所属 | 職種 |
| 植田 千尋 | オリジナル設計株式会社 | 事務 |
| 井上 明子 | 株式会社 極東技工コンサルタント | 事務 |
| 小森 智美 | 株式会社 日水コン | 技術 |
| 待永 璃子 | 日本技術サービス株式会社 | 技術 |
| 塚本 範子 | 日本水工設計株式会社 | 技術 |
| 大井 香里 | 株式会社 三水コンサルタント | 技術 |

| C班 | | |
|-------|----------------|----|
| 氏名 | 所属 | 職種 |
| 崎山 敦子 | 株式会社 NJS | 事務 |
| 北 香織 | オリジナル設計株式会社 | 事務 |
| 平井 緩苗 | 株式会社 昭和設計 | 技術 |
| 守内 友香 | 株式会社 三水コンサルタント | 技術 |
| 藤本 雅美 | 株式会社 東京設計事務所 | 事務 |
| 小西 律子 | 日本水工設計株式会社 | 技術 |

| D班 | | |
|--------|------------------|----|
| 氏名 | 所属 | 職種 |
| 福島 亜希子 | 株式会社 NJS | 事務 |
| 松尾 久子 | オリジナル設計株式会社 | 技術 |
| 山本 幸 | 株式会社 極東技工コンサルタント | 技術 |
| 小嶋 理世 | 株式会社 昭和設計 | 事務 |
| 北川 侑瑛 | 株式会社 東京設計事務所 | 技術 |
| 田中 志保子 | 株式会社 日水コン | 技術 |

計 8 社、24 名

協会役員名簿

| 氏名 | 役職名 | 会社名 |
|-------|------------------------------|--------------|
| 北 秀文 | 全国上下水道コンサルタント協会 支部長 | (株)三水コンサルタント |
| 山本 哲彦 | 全国上下水道コンサルタント協会 総務委員会 委員長 | (株)日水コン |
| | | |

合同実行委員名簿

| 氏名 | 役割 | 会社名 |
|--------|-----------------|------------|
| 滝澤 茂 | 実行委員長（関西支部） | (株)日水コン |
| 本名 元 | 実行委員 司会進行（関西支部） | 日本水工設計(株) |
| 依藤 弘志 | 実行委員（関西支部） | (株)ニュージェック |
| 五十嵐八穂子 | 体験談講師（関東支部） | オリジナル設計(株) |
| 小森 智美 | 体験談講師（関西支部） | (株)日水コン |
| 井前 省吾 | 主講師（関東支部） | 日本水工設計(株) |
| | | |